

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	中西条浄水場更新事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	施設課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	2 いつでも安定して供給できる水道、3 危機に強い水道の構築
施策	2-1 浄水場、3-2 施設の耐震化
関連根拠法令等	水道法

## 【事業概要】

現状と課題	中西条浄水場は、建設後40年を経過しており、施設の老朽化が著しく、さらに耐震基準を満たしていない施設が多数存在している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	施設の耐震化を行うことにより危機に強い水道の構築を目指し、さらに老朽化した電気及び機械設備をエネルギー効率に優れた設備に更新することで、省エネルギー対策を推進するものである。
対象 ※誰、何に対して	中西条浄水場
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	中西条浄水場整備基本計画(その2)に基づき、順次整備していくものである。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)
事業費合計		1,841,889 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	752,800 千円
	その他特財	544,528 千円
	一般財源	544,561 千円

## 【会計】

会	計	水道事業会計
款		資本的支出
項		建設改良費
目		原浄水施設費・受託工事費

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成25年度(決算)
事業費合計		1,841,889 千円	597,559 千円	431,337 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	平成26年度に浄水処理施設(1系)耐震補強工事が、平成28年度に浄水処理施設(2系)耐震補強工事がそれぞれ完成し、さらに県施設である浄水処理施設(3系)耐震補強工事を現在施工中である。また、県市共同施設である中西条浄水場表流水系取水施設についても平成29年度完成予定である。引き続き耐震化等更新事業を最優先に実施し、災害などの危機に強い水道を構築する。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対	象	更新対象施設	施設	11	11	11

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活	動	更新完了施設数	施設	4	3	3
		更新工事・設計等業務数	件	13	9	4
活	動	平成28年度は、中西条浄水場浄水処理施設(2系)が竣工し、中西条浄水場浄水処理施設(3系)耐震補強等更新工事を発注・契約した。繰越工事であった取水系電気棟築造工事と流量計室更新工事について完成したことにより整備完了施設数は増加している。				

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成	果	事業進捗率	%	36.4	27.3	27.3	平成38年度	100
成	果	平成28年度は中西条浄水場浄水処理施設(2系)が竣工し、中西条浄水場浄水処理施設(3系)耐震補強等更新工事を施工中である。繰越工事であった表流水系取水施設の2工事も完了した。平成29年度は旧中央管理棟耐震補強等の施工開始、表流水系取水施設の残り2施設の完成、洗浄排水池電気棟の実施設業務の発注等により、さらに今後進捗率は上がる予定である。						

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	水源地、配水池整備事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	施設課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	2 いつでも安定して供給できる水道、3 危機に強い水道の構築
施策	2-2 水源地、2-3 配水池、2-4 加圧ポンプ場、3-2 施設の耐震化
関連根拠法令等	水道法

## 【事業概要】

現状と課題	水道水の長期的な安定供給の目安である配水池容量(12時間分以上)は確保できているが、地下水源である水源地が停止した場合は水道水の安定供給が出来ない状況となる。また、水道施設の老朽化が進んでおり、一部耐震性に欠けている施設もある。特に加古川右岸側においては、自然災害等で基幹施設である中西条浄水場からの安定供給が出来ないことも想定される。地下水源の水質汚染対策(クリプトスポリジウム対策)の未整備水源がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	老朽化及び耐震性能の劣る施設を整備更新すること、さらに低区配水区地域の3階直圧給水に対応した水圧を確保することにより、より安全で安定した水道水の供給を図ることができる。
対象 ※誰、何に対して	中西条浄水場を除く水源地、配水池、加圧ポンプ場等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	水道施設基本計画に基づき優先度の高い施設から順次整備更新を進める。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)	
事業費合計		1,977,705	千円
財源内訳	国庫支出金	0	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	1,247,200	千円
	その他特財	0	千円
	一般財源	730,505	千円

## 【会計】

会	計	水道事業会計
款		資本的支出
項		建設改良費
目		原浄水施設費・配水施設費

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		1,977,705 千円	1,171,133 千円	841,649 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	中西条浄水場以外の施設の整備更新については、城山配水池の更新工事・東神吉水源地の耐震補強工事・低区配水増圧施設(新在家加圧ポンプ場)の建設工事が平成28年度に完了した。今後も水道施設基本計画(平成22年度策定)に基づき優先度の高い施設から順次整備更新を進め、安全で安定した水道水の供給を図りたい。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対	象	水源地・配水池などの施設	施設	20	20	20

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活	動	整備更新を完了した施設数	施設	5	2	2
		整備更新を実施した工事・設計等業務数	件	16	14	15
活	動	指	平成28年度は、城山配水池の更新工事・東神吉水源地の耐震補強工事・低区配水増圧施設(新在家加圧ポンプ場)の建設工事が完了したため、既に完了している西部水源地と併せて5施設となり、施設数は増加している。			
分	析	結	標			
		果				

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成	果	事業進捗率	%	25.0	10.0	10.0	平成38年度	100
成	果	指	平成28年度に城山配水池の更新工事・東神吉水源地の耐震補強工事・低区配水増圧施設(新在家加圧ポンプ場)の建設工事の完了により事業進捗率は伸びている。さらに平成29年度以降は投松ポンプ場更新事業、都台ポンプ場更新事業等の実施を予定している。このため進捗率は今後上昇すると予想される。					
分	析	結	標					
		果						

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	老朽管更新(耐震化)事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	配水課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	2 いつでも安定して供給できる水道
施策	5 導・送・配水管
関連根拠法令等	水道法、公営企業法

## 【事業概要】

現状と課題	耐震性の低い石綿セメント管や高級铸铁管(印ろう継手、無ライニング管)の管路延長は全体の0.24%であり、これらの更新は概ね完了している。全管路における耐震化率は平成28年度末で25.9%であるが、水需要急増期に整備した非耐震性継手(ビニール管、ダクタイル鉄管)で法定耐用年数40年を超える管路延長が今後も増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	老朽管や非耐震性継手管を整備更新することで自然災害等による被害を最小限にとどめ、被災した場合でも迅速に復旧できる耐震性に優れた水道管路の構築。
対象 ※誰、何に対して	非耐震性継手管(ビニール管、ダクタイル鉄管、石綿セメント管、高級铸铁管)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管路更新計画に基づき、主要配水ルートとその他の管路に分け、主要配水ルートにおける耐震化されていない管路、法定耐用年数(布設後40年以上)の経過した管路、または災害時に重要な給水地点となる管路を優先して年間更新延長約5,000mの布設替工事を計画的に実施する。石綿セメント管、高級铸铁管は、下水道または道路工事等の計画区域に埋設されており、それらの事業工事に合せて更新する。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)	
事業費合計		726,677	千円
財源内訳	国庫支出金		千円
	県支出金		千円
	地方債		千円
	その他特財		千円
	一般財源	726,677	千円

## 【会計】

会計		水道事業会計
会	計	
款		資本的支出
項		建設改良費
目		配水施設費

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		726,677 千円	101,469 千円	736,661 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	平成28年度末の耐震化率は25.9%であるが、基幹管路については耐震化が遅れている。今後は特に市民生活に影響が大きい基幹管路を中心に、更新(耐震化)事業のさらなる推進が必要である。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対	象	水道管総延長	km	1,103	1,097	1,093

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	
活	動	①老朽管更新(耐震化)延長	km	6.7	1.6	4.9	
		②下水工事に伴う移仮設延長	km	4.8	2.5	2.0	
		③配水管整備事業延長	km	0.8	0.2	0.4	
		④開発事業等新設延長	km	0.6	1.8	3.0	
活	動	指	標	老朽管更新(耐震化)の実績延長は6.7kmであり、計画どおり(5.0km/年)実施できている。 ※耐震管路の総延長は、①老朽管更新(耐震化)事業による実績に、②下水工事に伴う配水管移仮設事業、③配水管整備事業、及び④開発等による整備延長を加えたものである。			

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成	果	管路耐震化率	%	25.9	24.9	24.4	平成30年度	31.0
		耐震管路総延長	km	285.8	272.9	266.8	平成30年度	340.0
成	果	指	標	平成30年度の目標達成は困難な状況であるが、今後は老朽管更新計画に基づき、市民生活への影響が大きい基幹管路を主に更新(耐震化)事業に取り組んでいく。				

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	配水管整備事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	配水課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	2 いつでも安定して供給できる水道
施策	5 導・送・配水管
関連根拠法令等	水道法、公営企業法

## 【事業概要】

現状と課題	給水区域内における配水管の拡張整備は、給水が確保できるところまで整備された。今後は、道路事業や区画整理事業等の公共事業にあわせて配水管の整備拡充を行う。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	給水区域内において、いつでも安定して供給できる水道管路を構築する。
対象 ※誰、何に対して	給水区域内における配水管の未整備箇所
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	管路更新計画と整合させながら計画的な配水管布設工事を行い整備を図る。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)
事業費合計		43,992 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	29,600 千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,392 千円

## 【会計】

会	計	水道事業会計
款		資本的支出
項		建設改良費
目		配水施設費

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		43,992 千円	21,295 千円	21,221 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	道路事業等の計画に合わせて整備事業を実施できた。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対 象		配水管整備延長(予定)	m	810	915	465

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活 動 実 績		配水管整備延長(実績)	m	802	234	399
活 動 指 標 分 析 結 果	道路事業等に合わせて施工するため延長の増減はあるが、計画どおり実施できた。 (平成26、27年度の整備延長は、道路事業の進捗により予定より減少しているが、整備可能な区間の整備は全て完了している。)					

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成 果		目標達成率	%	99.0	25.6	85.8		
成 果 指 標 分 析 結 果	施工を予定していた区間は道路事業等に合わせて毎年整備できている。 配水管整備残延長は約6.0kmで、平成36年を目標に道路事業に合わせて実施していく。							



## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	漏水防止対策事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	配水課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	1 安全で良質な水道水の供給
施策	5 導・送・配水管
関連根拠法令等	水道法、地方公営企業法

## 【事業概要】

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>有効率の向上を目標に昭和57年度から年次計画により実施中。</li> <li>第10次漏水防止対策事業の目標値は有収率95.3%とする。</li> <li>漏水は復元するものであり、有収率を維持するために今後は費用対効果、年次調査区域割の頻度、細分化、調査手法の検討を要する。</li> </ul>
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から第10次漏水防止計画に基づき、目標有収率を達成する。</li> </ul>
対象 ※誰、何に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>給水区域全域</li> </ul>
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>漏水防止対策指針の「基礎的対策、対症療法的対策、予防的対策」を一体的に推進する。</li> <li>漏水調査(工法は、リークゾーンテスト、監視型漏水調査、個別音聴調査)</li> <li>老朽管の布設替(漏水多発管路等)</li> <li>配水管の適正水圧</li> </ul>

## 【コスト】

		平成28年度(決算)	
事業費合計		21,600	千円
財源内訳	国庫支出金	0	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	0	千円
	その他特財	0	千円
	一般財源	21,600	千円

## 【会計】

会	計	水道事業会計
款		事業費用
項		営業費用
目		配水費

## 【コスト推移】

	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	21,600 千円	18,900 千円	14,285 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<p>有収率は横ばいで推移しているものの、毎年計画どおりに調査を行い、成果を上げている。平成27年度以降は平成26年度に策定した第10次漏水防止計画に基づき、継続的な取り組みとより効率的な調査方法を検討しながら、目標有収率の達成を目指す。</p>

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

	対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対 象	調査対象管路	km	540	540	408

## 【事業実績】

	活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活 動 実 績	リークゾーンテスト	基	2,464	2,464	1,802
活 動 指 標 分 析 結 果	計画通り調査を進めることができ、40箇所の漏水を発見できた。				

## 【事業成果】

	成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成 果	有収率	%	96.7	95.6	94.8	平成29年度	95.3
成 果 指 標 分 析 結 果	目標有収率を上回る結果となった。漏水の早期発見、早期修繕することで水資源の流出を防ぎ有収率の向上に貢献できた。						

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	水管橋更新事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	配水課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	2 いつでも安定して供給できる水道
施策	5 導・送・配水管
関連根拠法令等	水道法・地方公営企業法

## 【事業概要】

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外見だけでは劣化状況が判明しにくい。</li> <li>・適切な修理方法の検討がなされていない。</li> <li>・耐震性評価の把握ができていない。</li> <li>・水管橋箇所における破裂、破損事故による漏水を防止し、持続的な供給を確保する。</li> </ul>
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故による漏水の減少を更新事業の目的とし、供給先の市民への市民サービスを充実する。</li> <li>・台帳を作成することにより耐震化の優先順位等、更新時期の目安になり適切な管理が可能になる。</li> </ul>
対象 ※誰、何に対して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路管理者、河川管理者</li> <li>・上水道施設</li> </ul>
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路橋の長寿命化対策事業計画との整合性を図り、水管橋の更新を行う。</li> <li>・平成29年度～30年度で老朽管更新計画の見直しを行う予定であり、今後は管路更新と調整しながら水管橋の更新を行う。</li> </ul>

## 【コスト】

		平成28年度(決算)
事業費合計		5,631 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,631 千円

## 【会計】

会	計	水道事業会計
款		資本的支出
項		建設改良費
目		配水施設費

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		5,631 千円	92,365 千円	0 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<p>単独による架替えは効率が悪いことから、平成30年度に耐震性評価も踏まえた老朽管更新計画の見直しを行い、関連する老朽管更新工事や他事業との連携を図りながら順次架替工事を進めていく。</p>

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対 象		架け替えを予定していた水管橋設計	件	1	1	1
		架け替えを予定していた水管橋架替工事	件	2	1	2

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活 動 実 績		水管橋詳細設計業務委託	件	3	0	2
		水管橋架替工事	件	2	1	2
活 動 指 標 分 析 結 果	中期事業計画に基づき水管橋の架替に向けた実施設計を行った。今後、平成30年度の更新計画の見直しにあわせて架替等を進める。					

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成 果		水管橋詳細設計業務委託	%	100	0	100		
		水管橋架替工事	%	100	100	100		
成 果 指 標 分 析 結 果	老朽化した水管橋を道路改良工事等にあわせて更新することで安全な管路網が構築されている。							

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	水道お客さまセンター業務委託事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	経営管理課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	4 水道事業の経営基盤の強化
施策	2 民間委託の推進
関連根拠法令等	地方公営企業法

## 【事業概要】

現状と課題	委託業務内容については毎月の定例会で報告・協議等を実施しているが、執務室が異なることから、業務の執行に当たっては、更に緊密な連携が求められている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	休日に開始・中止届の受付、水道栓の開閉栓業務、収納業務等を実施することによりお客さまへのサービスの充実を図る。 民間業者に業務委託を行うことにより、職員の人員及び経費の削減を図る。
対象 ※誰、何に対して	①加古川市が給水している区域の住民(法人を含む) ②高砂市が給水している米田町地区の住民(法人を含む) ③簡易水道区域の下水道接続者(井戸水使用者及び法人を含む)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	1月1日から1月3日を除く毎日午前8時30分から午後5時15分まで水道庁舎1階水道お客さまセンターにおいて下記の業務を行う。 業務内容としては、(1)窓口業務、(2)検針・調定業務、(3)収納業務(水道料金・下水道使用料) (4)開閉栓・精算業務、(5)滞納整理・給水停止業務、(6)下水道関連業務である。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)	
事業費合計		171,273	千円
財源内訳	国庫支出金	0	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	0	千円
	その他特財	0	千円
	一般財源	171,273	千円

## 【会計】

会計		水道事業会計
会	計	事業費用
款		営業費用
項		業務費
目		

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		171,273 千円	171,273 千円	163,018 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	民間活力を導入し効果的な事業運営が図られている。今後の運営についても現在のコスト削減を検討しつつ、特に滞納整理及び収納業務においては、より効果的な手法を検討し実施することで成果を上げていきたい。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対 象	①	加古川市給水区域	件	113,043	111,941	111,258
	②	高砂市給水区域の米田町地区	件	1,847	1,840	1,818
	③	簡易水道区域の下水道接続者	件	284	270	409

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活 動 実 績		開始届・中止届の受付件数	件	15,651	15,130	14,914
		電話による納付督促件数	件	11,137	13,222	16,019
活 動 指 標 分 析 結 果	開始届・中止届の受付件数については、年15,000件前後で推移している。電話による納付督促件数については、高額滞納者とならないよう、現年度の未納者に対して早期接触に重点を置いて実施している。					

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成 果		水道料金現年度収納率	%	91.2	91.0	91.0	平成28年度	91.1
		水道料金過年度収納率	%	94.1	93.4	90.4	平成28年度	91.3
成 果 指 標 分 析 結 果	現年度収納率は、91.0%前後で横ばい状態であるが、過年度収納率は、増加傾向である。なお、現年度の収納率については、3月調定分が翌月の納期限を迎えることから、一般会計と同様に5月末の収納率で算出すると99.5%となっている。							

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	水道料金収納事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	経営管理課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	4 水道事業の経営基盤の強化
施策	2 民間委託の推進
関連根拠法令等	水道法、民法、給水条例

## 【事業概要】

現状と課題	機器の普及や環境意識の高まりに伴う節水意識の定着、企業のコスト縮減努力などによって料金収入は伸び悩み傾向にある。水道事業の財源の根幹となる料金収入の安定的確保と負担の公平性の観点から、納期内納付の促進と滞納整理の強化を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	水道施設の維持管理に必要な費用を施設の利用者が負担することにより、経営の健全化を図る。
対象 ※誰、何に対して	水道の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	水道料金の収納については、口座振替、コンビニ収納、クレジット支払いや金融機関の窓口等で納付できるよう、納付し易い環境整備を行っている。しかしながら、納期限内に納付されない者も多く、文書、電話、外勤徴収等による収納業務を行うとともに、2期以上の滞納者については、給水停止等の実効的な方法も取り入れ収納率の向上を図っている。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)	
事業費合計		305,219	千円
財源内訳	国庫支出金	0	千円
	県支出金	0	千円
	地方債	0	千円
	その他特財	0	千円
	一般財源	305,219	千円

## 【会計】

会計		水道事業会計
会	計	事業費用
款		営業費用
項		業務費
目		

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)		平成27年度(決算)		平成27年度(決算)	
事業費合計		305,219	千円	253,829	千円	243,571	千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	適正な賦課徴収に努めていくとともに、滞納整理を進めるにあたって債権管理課との連携方法や債権回収業務の外部委託等、どのような体制が良いのか検討していきたい。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対	象	水道料金調定額(現年度)	千円	4,494,534	4,489,323	4,496,817

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度		
活	動	実	績	水道料金等の賦課徴収経費	千円	305,219	253,829	243,571
活	動	指	標	委託内容の見直しや料金関係システムの更新等により金額が増減する。				
分	析	結	果					

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成	果	水道料金収納金額(現年度)	千円	4,098,985	4,083,320	4,092,067		
		収納率(現年度)	%	91.2	91.0	91.0	平成28年度	91.1
		収納率(過年度)	%	94.1	93.4	90.4	平成28年度	91.3
成	果	指	標	節水等の理由により料金収入は減少傾向であるが、滞納者への早期接触による徴収強化により、過年度収納率は向上している。				
分	析	結	果					



## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	職員研修事業	部	局	名	上下水道局
		課		名	経営管理課

## 【基本情報】

基本理念	2 安全と安定を未来へ
施策目標	4 水道事業の経営基盤の強化
施策	4 人材の育成
関連根拠法令等	

## 【事業概要】

現状と課題	多様化する住民のニーズ・行政課題に対応するため、新たな発想や高度な知識・技術を習得し、時代に合った職員の能力を開発する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	外部機関(公益社団法人日本水道協会等)が実施する研修へ職員を派遣する。
対象 ※誰、何に対して	職員
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	多様化する住民のニーズ・行政課題に対応するために必要とされる高度な知識や専門技術、求められる意識等を学び、職員の資質向上を図る。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)
事業費合計		1,758 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他特財	0 千円
	一般財源	1,758 千円

## 【会計】

会計	水道事業会計
款	事業費用
項	営業費用
目	総係費

## 【コスト推移】

	平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	1,758 千円	2,434 千円	1,728 千円

## 【総合結果】

総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	経験豊富な職員が退職により減少している中、多様化する住民のニーズ・行政課題に対応するためには、研修事業を継続的に行う必要がある。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対 象		水道会計職員数(※再任用職員を除く)	人	47	49	53
		再任用職員数	人	6	7	6

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活 動 実 績		派遣研修修了者数	人	89	87	98
活 動 指 標 分 析 結 果	派遣研修修了者数は、90人前後を推移している。					

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成 果		外部研修時間(※)	時間	11.8	14.0	10.9	平成29年度	14.0
成 果 指 標 分 析 結 果	<p>職員1人あたりの研修時間を平均的に表している。  平成28年度は、ほぼ予定どおりの専門研修に参加させることができたが、研修の内容、定員等の理由により、研修時間は減少となった。</p> <p>※外部研修時間・・・(研修時間×研修受講人数(再任用職員除く)÷全職員数(再任用職員除く))</p>							

## 加古川市上下水道局 事業評価シート(平成28年度実施事業)

事務事業名	広報PR事業(上下水道事業)	部 局 名	上下水道局
		課 名	経営管理課

## 【基本情報】

基本理念	1 お客様に信頼される水道(水道)	2 安全・安心な暮らしの実現(下水道)
施策目標	5 お客様サービスの向上(水道)	7 親しまれる下水道事業を目指します(下水道)
施策	1 広報・広聴活動の充実(水道)	3 お客様との情報交換(下水道)
関連根拠法令等		

## 【事業概要】

現状と課題	多様化する住民のニーズ・行政課題に対応するため、情報の発信や提供を行い、市民と行政の情報共有化を図る必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川市上下水道局ホームページ及び広報かがわにおいて、広くお客さまに情報を発信する。施設見学や出前講座により、お客さまに上下水道に関する理解を深めて頂く。
対象 ※誰、何に対して	上下水道利用者(お客さま)
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	ホームページを通じて、積極的な情報の提供を行うことにより、お客さまと情報の共有を図る。施設見学を通して、浄水処理・下水処理の過程、施設の現況、経営状況に関して、お客さまとの情報の共有を図る。

## 【コスト】

		平成28年度(決算)
事業費合計		1,011 千円
財源内訳	国庫支出金	0 千円
	県支出金	0 千円
	地方債	0 千円
	その他特財	0 千円
	一般財源	1,011 千円

## 【会計】

会計		水道事業会計(下水道事業会計)
款	事業費用	(事業費用)
項	営業費用	(営業費用)
目	総係費	(総係費)

## 【コスト推移】

		平成28年度(決算)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計		1,011 千円	1,639 千円	1,902 千円

※水道事業のみ

## 【総合結果】

総合評価	■拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	市民が市の施策や情報を得るためにホームページはなくてはならないツールとして認知されており、継続的な運営が必要である。また、広報やホームページ以外にも情報発信のツールを検討するとともに、わかりやすい情報発信や情報内容の充実に努める。

## &lt;計測可能な数値による事業評価&gt;

## 【対象】

		対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
対 象		給水人口(水道)	人	258,181	258,634	258,354
		水洗化人口(下水道)	人	230,792	230,493	228,591

## 【事業実績】

		活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活 動 実 績		施設見学者数(水道)	人	2,033	2,465	2,421
		施設見学者数(下水道)	人	65	49	—
		ホームページアクセス数(水道)	回	28,242	26,007	30,693
		ホームページアクセス数(下水道)	回	14,947	10,909	—
活 動 指 標 分 析 結 果	<p>水道施設見学者数は、昨年度より減少したものの、小学校4年生の校外学習など毎年2,000人以上の見学者に、浄水のしくみについて理解を深めていただいている。</p> <p>また、加古川下流浄化センターの施設見学では、施設見学者に下水のしくみについて理解を深めていただいている。</p> <p>ホームページのアクセス数は、昨年度より増加し、水道ページは1月平均2,300回以上のアクセス数、下水道ページは1月平均1,200回以上のアクセス数がある。</p> <p>※下水道は、平成27年度より記載。(上下水道局組織統合)</p>					

## 【事業成果】

		成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
成 果		ホームページ新規ユーザー数(水道)	件	23,067	20,644	22,036	平成29年度	24,000
		ホームページ新規ユーザー数(下水道)	件	12,891	8,811	—	平成29年度	16,000
成 果 指 標 分 析 結 果	<p>ホームページの新規ユーザーは、水道は毎年20,000件以上の新規ユーザーがいる。また、下水道のホームページの新規ユーザーは、昨年度と比較し約4,000件増加している。</p> <p>市民が市の施策や情報を得るためのツールとして認知されていると思われる。</p> <p>※下水道は、平成27年度より記載。(上下水道局組織統合)</p>							